

# 地域母子保健

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 西里 真澄 講師		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	4	区分・時間数	講義/1単位
期間	後期		

## ・学修方針(講義概要等)

地域母子保健に関する基本理念を踏まえ、地域社会の中で助産師が行う活動の実際について、その展開方法を学ぶ。また、助産師が行う地域母子保健活動のうち、健康教育に焦点をあて、その具体的な方法について学修する。さらにそれらを通して、地域母子保健における助産師の役割を考察する。具体的には、地域母子保健、関連する母子保健行政(法律、統計、関連機関等)および助産師が行う地域母子保健の実際(健康教育・家庭訪問等)について学修する。

## ・教育成果(アウトカム)

地域母子保健を根拠となる法令や関連機関との連携の視点で理解し、その中での助産師の役割を考えることができるようになる。また、具体的な地域母子保健活動の内容を知ること、留意点や重要点を認識し、展開方法を考えることができる。

### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

## ・到達目標(SBO)

1. 地域母子保健の概要を理解し、連携機関やその中での助産師の役割を考えることができる。
2. 助産師が行う地域母子保健活動の具体的な内容を知り、実施時の留意点や重要点を理解することができる。
3. 新生児訪問計画を立案し、演習形式で実施することを通じ、実施時の留意点や重要点を説明することができる。
4. 助産師が行う健康教育、保健指導について、実施時の留意点や重要点を理解することができる。

## ・授業日程

【講義】 会場： マルチ4-A講義室/マルチ3-A実習室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
10/21 月 1限	<b>【授業内容】</b> 地域母子保健の概要 関連する母子保健対策(講義) ・地域母子保健と関連する母子保健行政に関する学習を通じ、連携機関やその中での助産師の役割について理解することができる。 <b>【関連するSBO】</b> 1、2 <b>【事前学修:60分】</b> 地域看護学展開論(3年前期)の母子保健における健康課題と保健活動について要点をまとめる。 <b>【事後学修:60分】</b> 地域母子保健行政の体系(行政・制度・施策)について要点をまとめる。	成育看護学講座 西里 真澄 講師
10/21 月 2限	<b>【授業内容】</b> 助産師が行う健康教育①(グループワーク) ・地域母子保健のニーズの把握と事業計画の策定、評価について説明できる。 <b>【関連するSBO】</b> 1、2、4 <b>【事前学修:60分】</b> これまでの実習で行われていた母子保健に関わる健康教育や保健指導を想起し、まとめる。 <b>【事後学修:60分】</b> 担当になった健康教育の計画立案をする。	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師
10/22 火 1限	<b>【授業内容】</b> 助産師による地域母子保健活動の実際①(講義) ・助産師が行う地域母子保健の実際について理解することができる。 ・地域母子保健の実践における連携について理解することができる。 <b>【関連するSBO】</b> 1、2 <b>【事前学修:60分】</b> 教科書(助産学講座9)P134~152、P181~203を読み、要点をまとめる。 <b>【事後学修:60分】</b> 助産師が行う地域母子保健について留意点や重要事項をまとめる。	成育看護学講座 西里 真澄 講師

10/22 火 2限	<p>【授業内容】助産師による地域母子保健活動の実際② ウィメンズヘルスケア(演習) ・演習を通じて、ウィメンズヘルスケアの実践における留意事項や重要点を理解することができる。</p> <p>【関連するSBO】1、2 【事前学修:60分】WebClassで配信する「助産師によるウィメンズヘルスケア」の資料を読み、要点をまとめる。 【事後学修:60分】助産師が行うウィメンズヘルスケアについて留意点や重要事項をまとめる。</p>	成育看護学講座 西里 真澄 講師
10/23 水 2限	<p>【授業内容】助産師による地域母子保健活動の実際③ いのちの教育(講義・ディスカッション) ・助産師が行ういのちの教育について、その役割を理解することができる。</p> <p>・ディスカッションを通じ、効果的な実践について考えることができる。</p> <p>【関連するSBO】1、2、4 【事前学修:90分】WebClassで配信する「国際セクシュアリティ教育ガイダンス(改訂版)」の資料を読み要点をまとめる。 【事後学修:60分】助産師が行ういのちの教育の留意点や重要事項をまとめる。</p>	成育看護学講座 西里 真澄 講師
10/24 水 3限	<p>【授業内容】乳児期の母子の健康支援(講義・グループワーク) ・乳児期の母子の健康支援と助産師の役割を理解することができる。</p> <p>・助産師が行う妊婦および褥婦・新生児の家庭訪問について理解することができる。</p> <p>・新生児訪問計画を立案することができる。</p> <p>【関連するSBO】1、2、3 【事前学修:60分】地域看護学方法論(3年前期)の家庭訪問の目的、プロセスについて復習しておく。 【事後学修:180分】新生児訪問計画の立案</p>	成育看護学講座 西里 真澄 講師
10/25 金 2限	<p>【授業内容】新生児訪問(演習・グループワーク) ・新生児家庭訪問計画を用いた演習を通じ、実施時の留意点や重要点を理解することができる。</p> <p>【関連するSBO】1、2、3 【事前学修:60分】作成した新生児家庭訪問計画を用いて家庭訪問のイメージトレーニングをしていく。 【事後学修:300分】演習を通じて修正・追記を要した箇所について検討し、助産学実習Ⅰに用いる新生児訪問計画を立案する。</p>	成育看護学講座 西里 真澄 講師
11/26 火 3限	<p>【授業内容】助産師が行う健康教育②(演習・プレゼンテーション) ・効果的な健康教育、保健指導についてプレゼンテーションができる。</p> <p>【関連するSBO】1、2、4 【事前学修:120分】プレゼンテーションの企画、運営の準備を行う。 プレゼンテーションの練習を行う。 【事後学修:60分】プレゼンテーションに対する質問や意見をもとに修正を行う。</p>	成育看護学講座 遊田 由希子 特任教授 西里 真澄 講師 高橋 淳美 講師

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健第6版	我部山キヨ子	医学書院	2023
教	助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ第6版	堀内成子	医学書院	2021
参	母子保健マニュアル 改訂8版	五十嵐隆編	南山堂	2023
参	国際セクシュアリティ教育ガイダンス【改訂版】	UNESCO	明石書店	2020

・成績評価方法

<p>【総括的評価】 ・演習・ディスカッション・グループワークへの取り組み状況50%、プレゼンテーション・演習の成果物50%にて評価する。なお、グループワークへの取り組み状況は、ワークでの主体的・積極的態度、事前準備として課した内容の遂行状況を含み、総合的に評価する。</p> <p>【形成的評価】 ・適宜、事後学修ノート等の提出を求め、学修状況の確認を行う。 ・授業内容毎に小テストを実施し、理解度を確認する。なお、小テストの点数は成績に反映しない。</p>
--

・特記事項・その他

<p>【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 小テストや事後学修ノートから多数の学生が理解していない内容について、次の授業やWebClassでコメントを伝える等、学生にフィードバックし、内容の理解と知識の定着を図る。</p> <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 助産師(別表2): 地域母子保健</p>
--

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター(VPL-FWZ60)	1	講義・演習用スライド投影